

令和4年度

全国体力・運動能力、運動習慣等調査

【恵庭市小・中学校における調査結果（報告）】



令和5年3月  
恵庭市教育委員会

## ◆ 目 次 ◆

1. 調査の概要	P 1
2. 用語の解説と説明	P 2
3. 調査結果の掲載方法	P 3
4. 北海道の調査結果について	P 3
5. 実技の結果	P 4
小学校	
中学校	
6. 体格と肥満度に関する調査結果	P 8
小学校	
中学校	
7. 児童生徒質問紙調査の結果	P 1 2
小学校（児童）	
中学校（生徒）	
8. 学校質問紙調査の結果	P 2 0

# 令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

## 【恵庭市における調査結果の状況】

### 1 調査の概要

#### ① 調査の目的

子どもの体力が低下している状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析することにより、子どもの体力・運動能力や運動習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

恵庭市は全国、全道的な状況との関係において自らの子どもの体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。なお、令和4年度も令和3年度同様、全学校を対象として調査を実施する。

学校では各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

#### ② 調査の対象学年

- ・小学校第5学年
- ・中学校第2学年

#### ③ 調査の内容

##### I. 児童生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（以下「実技調査」という）測定方法等は新体力テストの方法による〔小学校8種目〕

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

〔中学校8種目〕

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走または20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣、食習慣等に関する質問紙調査（以下「児童生徒質問紙調査」という）

##### II. 学校に対する質問紙調査

学校における体育、保健体育の指導及び特別活動等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という）

#### ④ 調査期間

令和4年4月から令和4年7月までの期間で実施

#### ⑤ 参加状況（調査を受けた学校数、児童生徒数）

	小学校		中学校	
	学校数	児童数	学校数	生徒数
恵庭市	8校	586人	5校	549人
全国	18,435校	973,545人	9,192校	857,594人
全道	980校	38,085人	597校	35,278人

## 2 用語の解説と説明

体カテスト種目		単位	体力要素	測定
①	握力	kg	筋力	左右握力の平均値
②	上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数
③	長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
④	反復横とび	点	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数
⑤	持久走	秒	全身持久力・長距離走能力	男子1500m, 女子1000mの走行時間(中学校選択)
	20mシャトルラン	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数(小学校・中学校選択)
⑥	50m走	秒	疾走能力	50mの疾走時間
⑦	立ち幅とび	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離
⑧	ソフトボール投げ	m	巧緻性・投球能力	ソフトボールを遠投した距離(小学校)
	ハンドボール投げ	m	巧緻性・投球能力	ハンドボールを遠投した距離(中学校)
体力合計点		点	8種目の体カテスト成績を1点から10点に得点化して総和した体カテスト合計得点	
総合評価		5段階	8種目の体カテストをすべて実施した場合、体カテスト合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した体力の総合評価	

用語	解説
標本数	平均値、標準偏差、T得点を算出した人数。
平均値	調査結果(テスト成績)の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。 「平均値=調査結果の総和/標本数」
標準偏差	調査結果の個人差の大きさを示す。平均値±標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。 平均値±標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る(いずれも正規分布の場合) 「標準偏差=分散の平方根、分散=偏差平方和/(標本数-1)、 偏差平方和=偏差の平方の総和、偏差=調査結果-平均値」
T得点	全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。 平均値50点、標準偏差10点の標準得点。 「T得点=50+10×(調査結果-平均値)/標準偏差」

※公立校の全国・都道府県の値は、公立校を対象としたものです。

※国立校および私立校の全国の値は、国立・公立・私立校を対象とし、都道府県の値は表示されません。

### 【標準体重と肥満度判定】

「児童・生徒の健康診断マニュアル(改訂版)」より

平成18年3月31日発行 財団法人日本学校保健会

$$\text{標準体重} = a \times \text{身長 (cm)} - b$$

$$\text{肥満度 (\%)} = \frac{[\text{自分の体重 (kg)} - \text{標準体重 (kg)}]}{\text{標準体重 (kg)}} \times 100$$

#### ■標準体重を求める係数

年齢	男子		女子	
	a	b	a	b
9 (小4)	0.687	61.390	0.652	56.992
<b>10 (小5)</b>	<b>0.752</b>	<b>70.461</b>	<b>0.730</b>	<b>68.091</b>
11 (小6)	0.782	75.106	0.803	78.846
12 (中1)	0.783	75.642	0.796	76.934
<b>13 (中2)</b>	<b>0.815</b>	<b>81.348</b>	<b>0.655</b>	<b>54.234</b>
14 (中3)	0.832	83.695	0.594	43.264

#### ■判定基準

肥満度	判定
50%以上	高度肥満
30 ~ 49.9%	中等度肥満
20 ~ 29.9%	軽度肥満
-19.9 ~ 19.9%	正常
-20 ~ -29.9%	やせ
-30%以下	高度やせ

### 3 調査結果の掲載方法

全道・全国平均値との比較として、「記号」や「文言」で表します。

#### 1. 「cm・m・kg・回・点・秒」の比較、表示方法

ポイント差	文言	記号
+5.0以上	上回る	△
+2.0～ +4.9	やや上回る	◇
-1.9～ +1.9	ほぼ同程度	≐
-2.0～ -4.9	やや下回る	◆
-5.0以下	下回る	▼

#### 2. 「%」の比較、表示方法

ポイント差	文言	記号
+5.0%以上	上回る	△
+2.0%～ +4.9%	やや上回る	◇
-1.9%～ +1.9%	ほぼ同程度	≐
-2.0%～ -4.9%	やや下回る	◆
-5.0%以下	下回る	▼

恵庭市における「実技の結果・体格と肥満度に関する調査結果・児童生徒質問紙調査の結果・学校質問紙調査の結果」の実際の結果平均数値については、他市町村等との単純比較や序列化などに結びつき、調査の目的を損ないかねないとの考えから、公表いたしません。  
同様の理由により、市内小・中学校ごとの結果数値についても公表いたしません。

### 4 北海道の調査結果について

北海道教育委員会としての調査結果報告書については、下記のアドレスから、PDF形式でダウンロードすることができます。

北海道（公立）における調査結果報告書  
 ⇒ <https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ktk/R4tairyokutyousapoint.html>



## 5 実技の結果

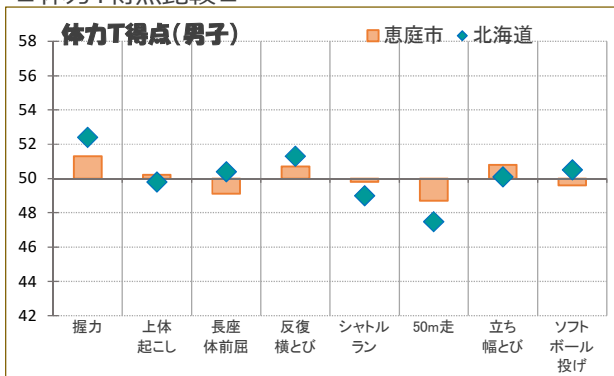
### <小学校男子>

- 全種目を通して、全国・全道平均とほぼ同程度である。
- 平成30～令和3年度と比較すると、「20mシャトルラン」は令和3年度の記録をやや上回っている。また「総合評価」については、C・D・E評価の割合が令和3年度より増加しているが、A・B評価の割合が減少している。

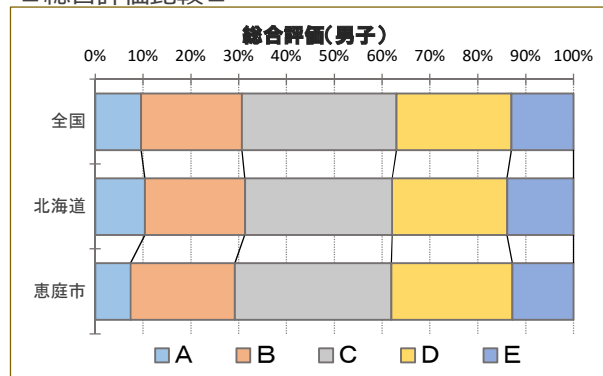
#### ■種目別結果の平均値■

小学校（男子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	小学校（男子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)
握力 (kg)	16.21	17.15	≒	≒	ソフトボール投げ (m)	20.31	20.73	≒	≒
上体起こし (回)	18.86	18.72	≒	≒	体力合計点 (点)	52.28	52.23	≒	≒
長座体前屈 (cm)	33.79	34.15	≒	≒	総合評価 (%)	A	9.6%	10.4%	◆
反復横とび (点)	40.36	41.46	≒	≒		B	21.1%	20.9%	≒
20mシャトルラン (回)	45.92	43.92	≒	≒		C	32.3%	30.8%	≒
50m走 (秒)	9.53	9.85	≒	≒		D	24.0%	24.0%	≒
立ち幅とび (cm)	150.83	151.15	≒	≒		E	13.0%	13.9%	≒

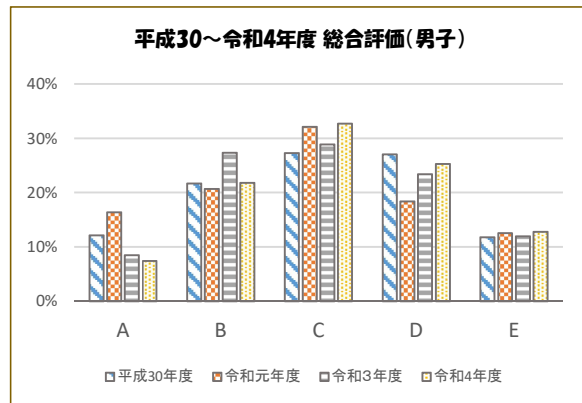
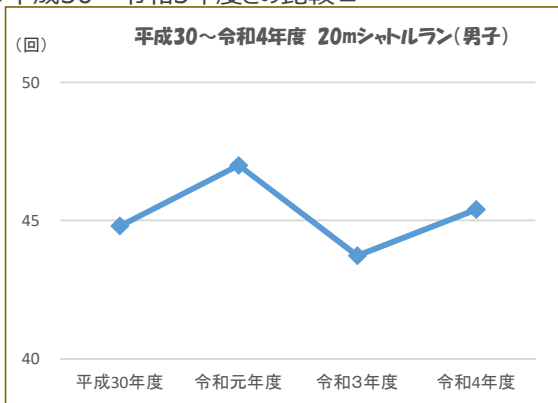
#### ■体力T得点比較■



#### ■総合評価比較■



#### ■平成30～令和3年度との比較■



<小学校女子>

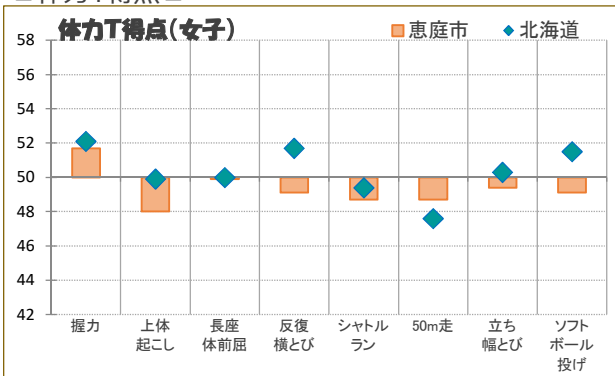
●「20mシャトルラン」が全国平均を、「反復横とび」と「立ち幅とび」が全道平均をやや下回っており、それ以外は全国・全道平均とほぼ同程度である。

●平成30～令和3年度と比較すると、「20mシャトルラン」は令和3年度の記録をやや上回っている。また「総合評価」については、B・C評価の割合が減少しており、D評価の割合が大幅に増加している。

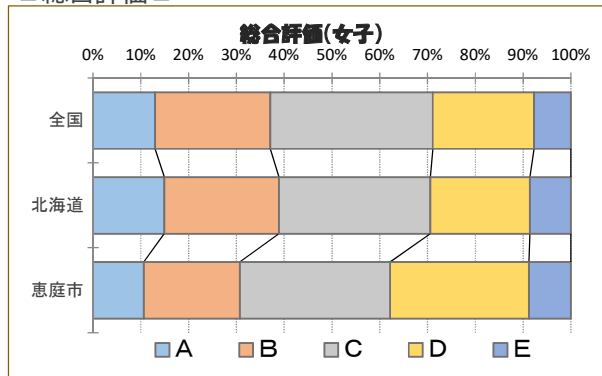
■種目別結果の平均値■

小学校（女子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	小学校（女子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	
握力 (kg)	16.10	16.90	≒	≒	ソフトボール投げ (m)	13.17	13.90	≒	≒	
上体起こし (回)	17.97	17.93	≒	≒	体力合計点 (点)	54.31	54.48	≒	≒	
長座体前屈 (cm)	38.18	38.14	≒	≒	総合評価 (%)	A	13.0%	14.9%	◆	◆
反復横とび (点)	38.66	39.95	≒	◆		B	24.1%	24.0%	◆	◆
20mシャトルラン (回)	36.97	36.00	◆	≒		C	34.0%	31.7%	◆	≒
50m走 (秒)	9.70	9.94	≒	≒		D	21.2%	20.8%	△	△
立ち幅とび (cm)	144.55	145.16	≒	◆		E	7.7%	8.6%	≒	≒

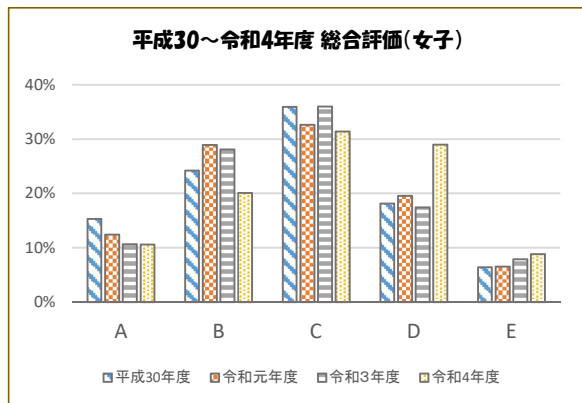
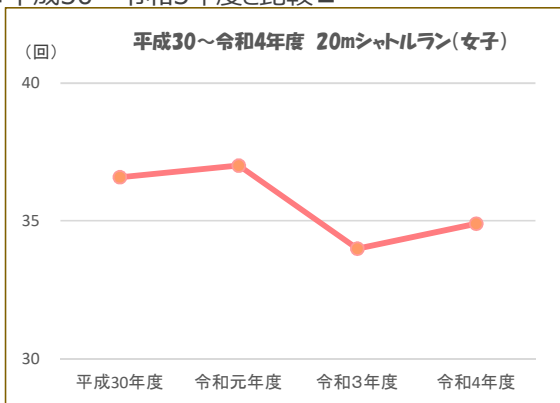
■体力T得点■



■総合評価■



■平成30～令和3年度と比較■



## 5 実技の結果

### <中学校男子>

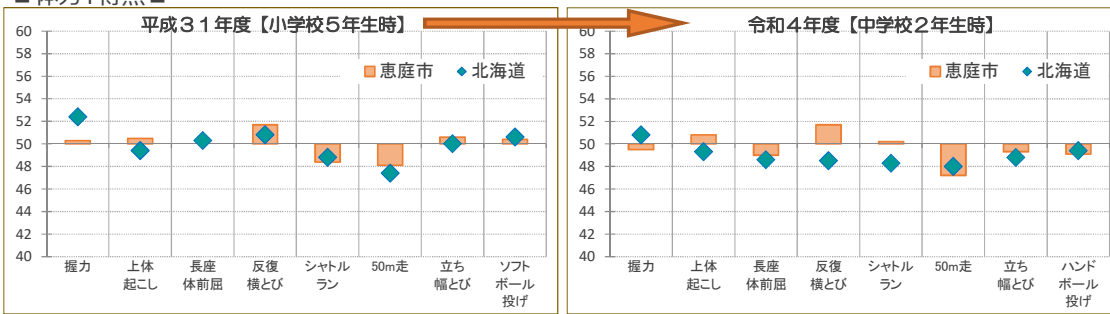
●「反復横とび」「20mシャトルラン」は全道平均をやや上回り、「立ち幅とび」は全国平均をやや下回っており、それ以外は全国・全道とほぼ同程度である。

●平成30～令和3年度と比較すると、「体力合計点」は過去3年間と比較して最も高い。また「総合評価」については、B評価の割合が過去3年間と比較して最も高く、A評価の割合は過去3年間と比較して最も低い。

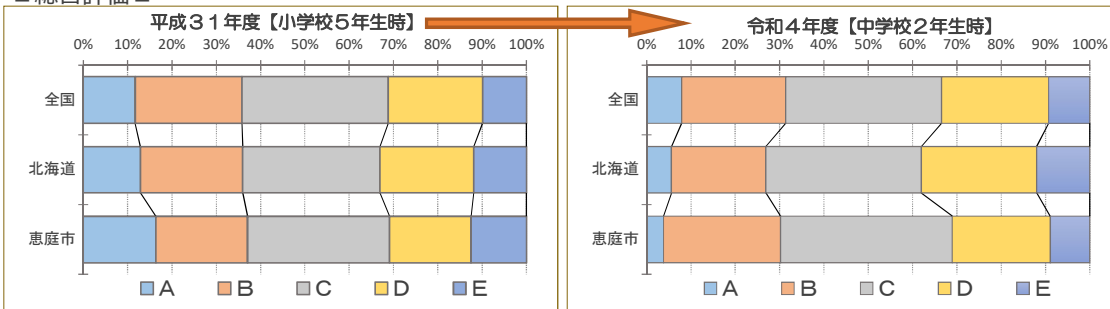
### ■種目別結果の平均値■

中学校(男子)	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	中学校(男子)	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	
握力(kg)	28.99	29.59	≒	≒	ハンドボール投げ(m)	20.28	19.92	≒	≒	
上体起こし(回)	25.74	25.31	≒	≒	体力合計点(点)	41.04	39.63	≒	≒	
長座体前屈(cm)	43.87	42.33	≒	≒	総合評価 (%)	A	7.9%	5.6%	◆	≒
反復横とび(点)	51.05	49.70	≒	◇		B	23.5%	21.3%	◇	△
持久走(秒)	409.81	431.39	◇	◇		C	35.2%	35.1%	◇	◇
20mシャトルラン(回)	78.07	73.63	≒	◇		D	24.2%	26.0%	◆	◆
50m走(秒)	8.06	8.28	≒	≒		E	9.3%	12.0%	≒	◆
立ち幅とび(cm)	196.89	193.37	◆	≒	※「持久走」は標本数が少ないため、結果の比較は省略					

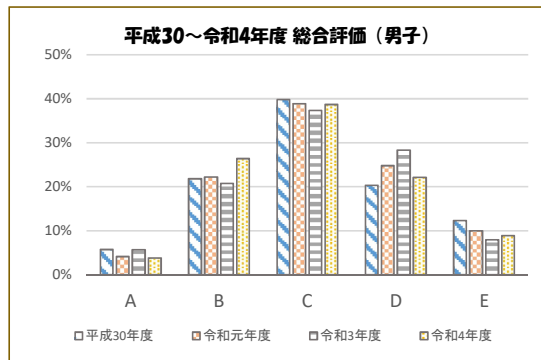
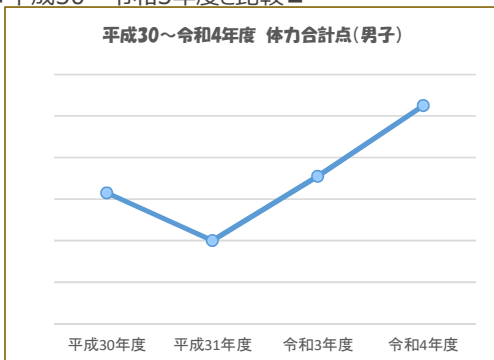
### ■体力丁得点■



### ■総合評価■



### ■平成30～令和3年度と比較■





<中学校女子>

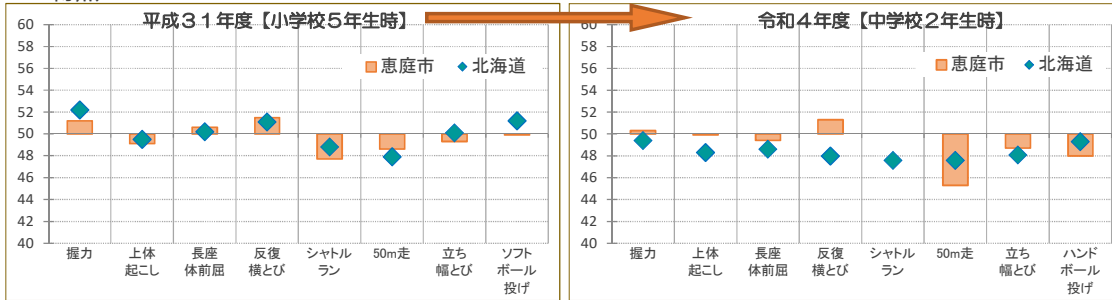
●「反復横とび」と「20mシャトルラン」は全道平均をやや上回り、「立ち幅とび」は全国平均をやや下回っているが、それ以外は全国・全道とほぼ同程度である。

●平成30～令和3年度と比較すると、「体力合計点」は過去3年間の記録を下回っている。また「総合評価」については、C・D評価の割合が過去3年間と比較して最も高く、A評価の割合が最も低い。

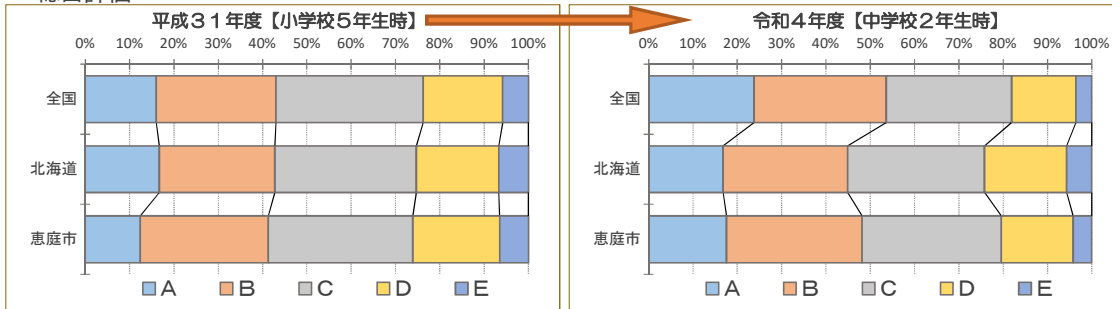
■種目別結果の平均値■

中学校（女子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	中学校（女子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	
握力 (kg)	23.21	22.93	≒	≒	ハンドボール投げ (m)	12.45	12.16	≒	≒	
上体起こし (回)	21.67	20.69	≒	≒	体力合計点 (点)	47.42	44.85	≒	≒	
長座体前屈 (cm)	46.07	44.62	≒	≒	総合評価 (%)	A	23.8%	16.8%	▼	≒
反復横とび (点)	45.81	44.33	≒	◇		B	29.8%	28.1%	≒	◇
持久走 (秒)	302.89	313.68	△	△		C	28.3%	30.9%	◇	≒
20mシャトルラン (回)	51.60	46.94	≒	◇		D	14.5%	18.5%	≒	◆
50m走 (秒)	8.96	9.19	≒	≒		E	3.6%	5.7%	≒	≒
立ち幅とび (cm)	46.27	48.23	◆	≒	※「持久走」は標本数が少ないため、結果の比較は省略					

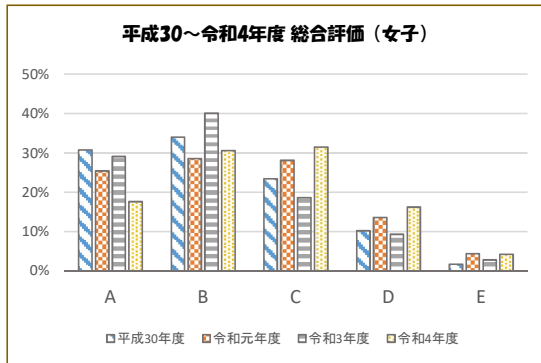
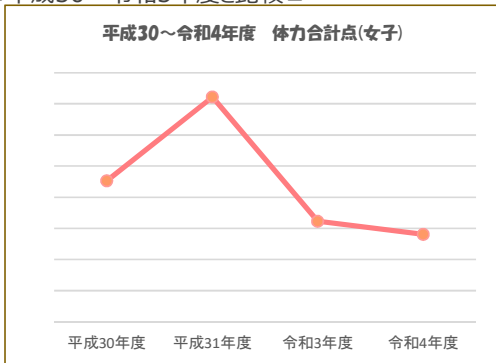
■T得点■



■総合評価■



■平成30～令和3年度と比較■



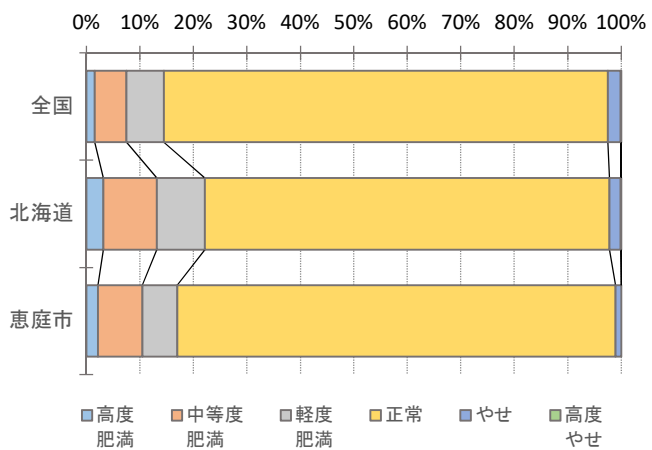
## 6 体格と肥満度に関する調査結果

### <小学校男子>

- 全国・全道平均と比較して、「身長・体重」ともにほぼ同程度である。
- 肥満・痩身傾向については、「中等度肥満」の割合が全国をやや上回っている。また、「正常」の割合が全道を上回っており、「軽度肥満」の割合がやや下回っている。それ以外は全国・全道とほぼ同程度である。

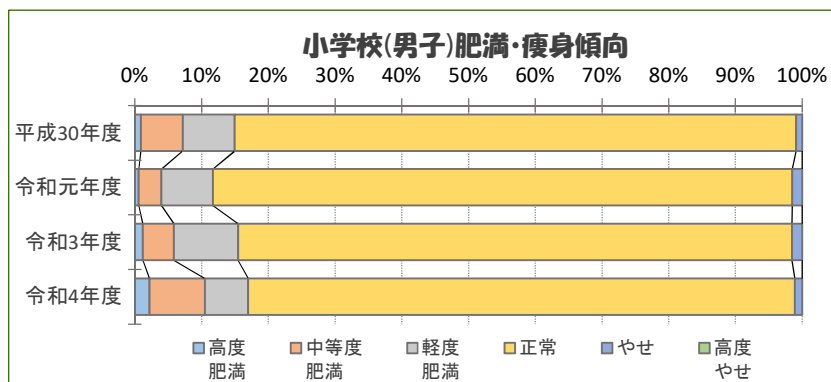
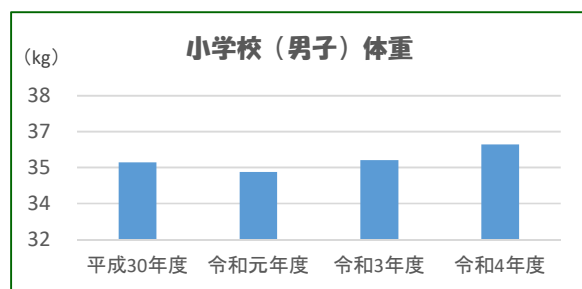
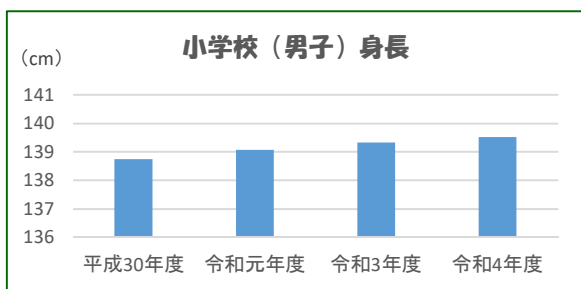
小学校（男子）		全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)
身長 (cm)		139.52	140.07	≒	≒
体重 (kg)		35.51	37.45	≒	≒
肥満傾向児・ 痩身傾向児の 出現率 (%)	高度肥満	1.6%	3.2%	≒	≒
	中等度肥満	5.9%	10.0%	◇	≒
	軽度肥満	7.0%	9.0%	≒	◆
	正常	82.9%	75.6%	≒	△
	やせ	2.4%	2.1%	≒	≒
	高度やせ	0.1%	0.1%	≒	≒

肥満傾向児・痩身傾向児の出現率（男子）



### ■平成30～令和3年度と比較■

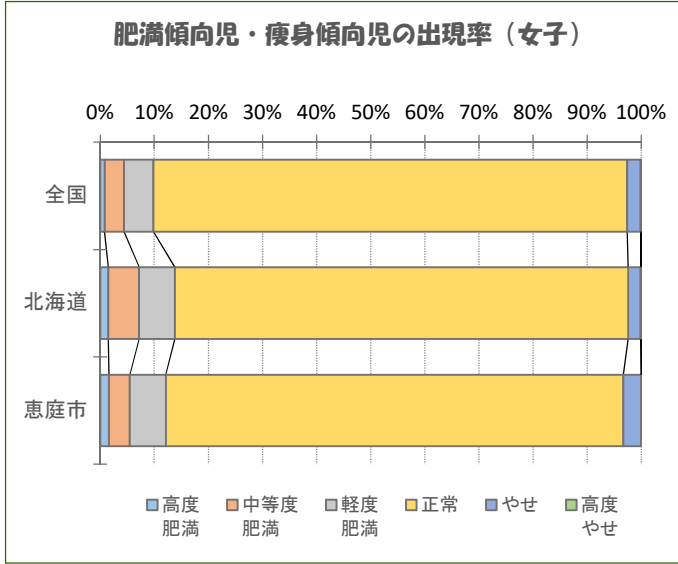
- 過去3年間と比較して、「身長・体重」ともにやや増加傾向にある。
- 肥満・痩身傾向については、過去3年間と比較して「高度肥満」「中等度肥満」の割合が最も高い。



<小学校女子>

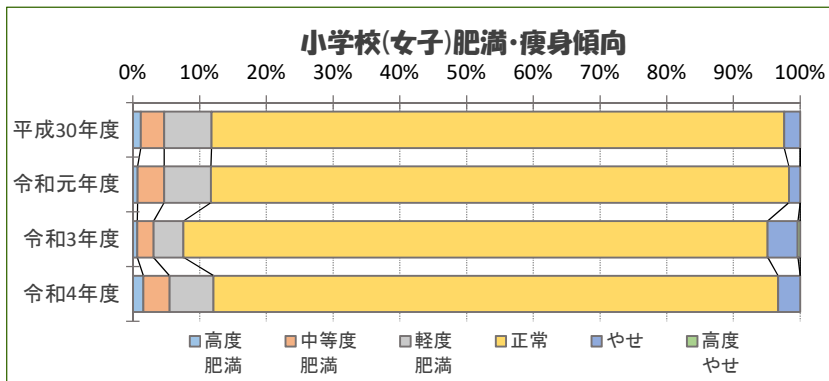
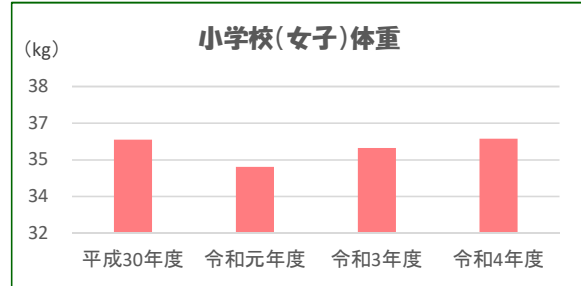
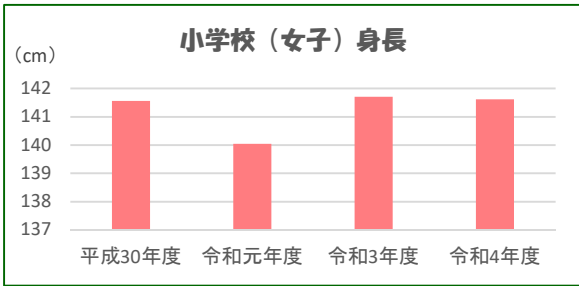
- 全国・全道平均と比較して、「身長・体重」ともにほぼ同程度である。
- 肥満・痩身傾向については、「正常」の割合が全国をやや下回っており、それ以外は全国・全道とほぼ同程度である。

小学校(女子)		全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)
身長 (cm)		141.30	141.78	≒	≒
体重 (kg)		35.37	36.54	≒	≒
肥満傾向児・ 痩身傾向児の 出現率 (%)	高度肥満	0.8%	1.5%	≒	≒
	中等度肥満	3.6%	5.7%	≒	≒
	軽度肥満	5.4%	6.6%	≒	≒
	正常	87.6%	83.8%	◆	≒
	やせ	2.5%	2.3%	≒	≒
	高度やせ	0.1%	0.1%	≒	≒



■平成30～令和3年度と比較■

- 過去3年間と比較して、「身長・体重」ともに大きな変化はないが、体重がやや増加傾向にある。
- 肥満・痩身傾向については、「高度肥満」の割合が過去3年間と比較して最も高い。

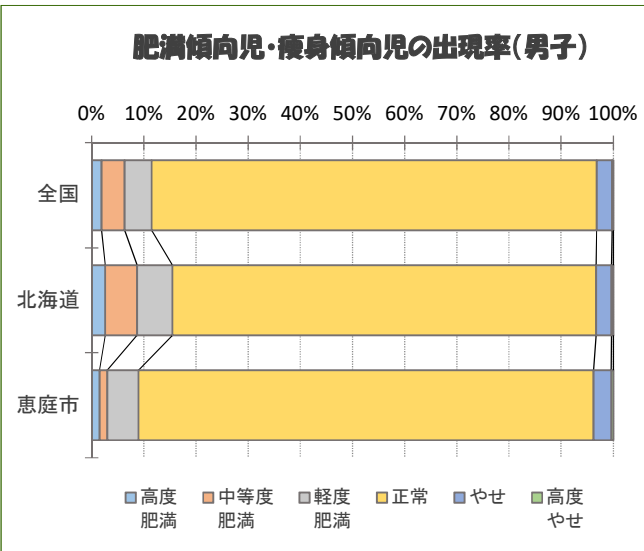


## 6 体格と肥満度に関する調査結果

### <中学校男子>

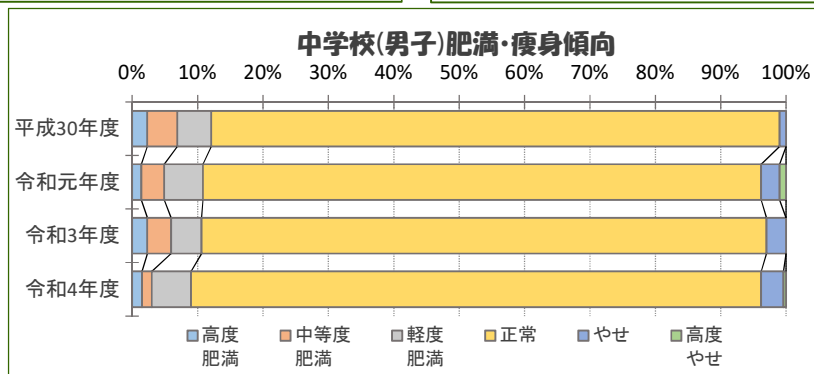
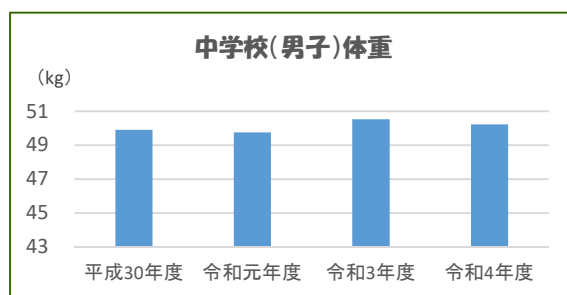
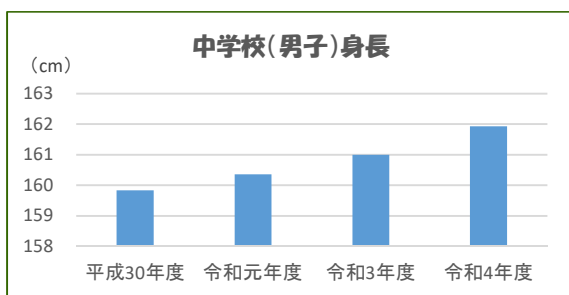
- 全国・全道平均と比較して、体重が全道よりやや低く、それ以外はほぼ同程度である。
- 肥満・痩身傾向については、「中等度肥満」の割合が全国・全道をやや下回っており、「正常」の割合が全道を上回っているが、それ以外は全国・全道とほぼ同程度である。

中学校(男子)		全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)
身長 (cm)		161.05	161.92	≒	≒
体重 (kg)		50.45	52.30	≒	◆
肥満傾向児・ 痩身傾向児の 出現率 (%)	高度肥満	1.9%	2.6%	≒	≒
	中等度肥満	4.4%	6.1%	◆	◆
	軽度肥満	5.2%	6.8%	≒	≒
	正常	85.4%	81.2%	≒	△
	やせ	3.0%	3.0%	≒	≒
	高度やせ	0.2%	0.3%	≒	≒



### ■平成30～令和3年度と比較■

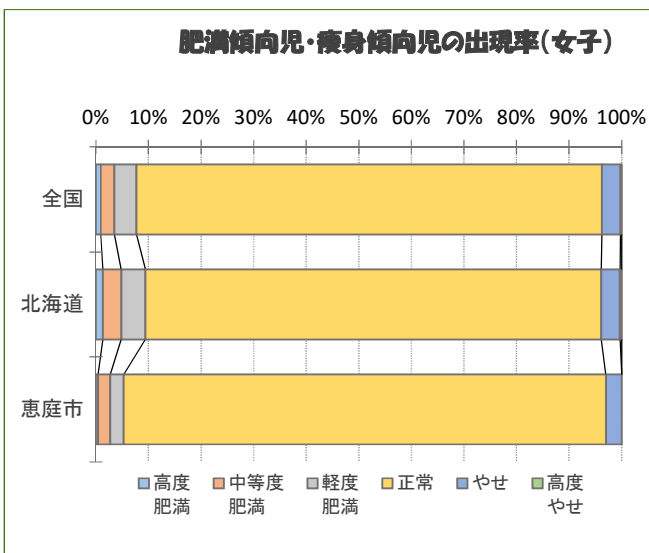
- 過去3年間と比較して、身長が増加傾向にある。
- 肥満・痩身傾向については、「正常」の割合は過去3年間と比較して最も高くなっており、「中等度肥満」の割合は過去3年間と比較して最も低い。



<中学校女子>

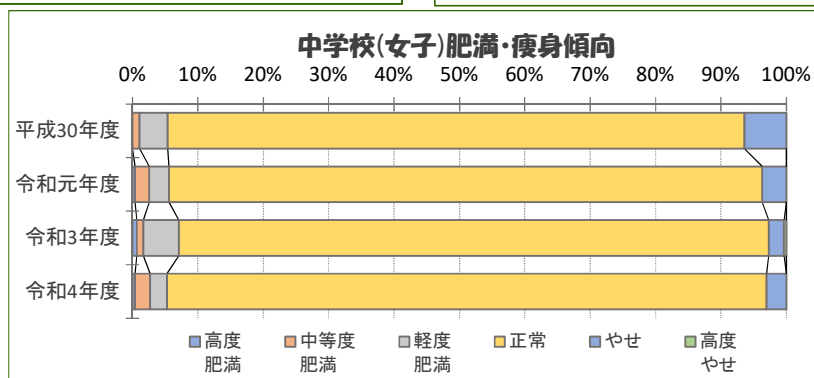
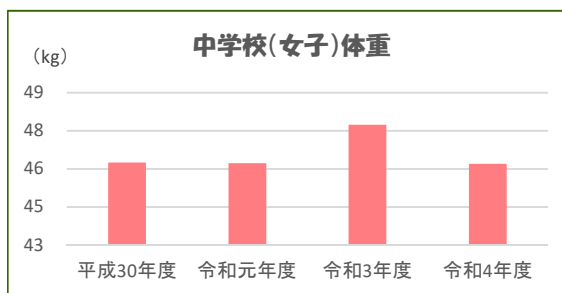
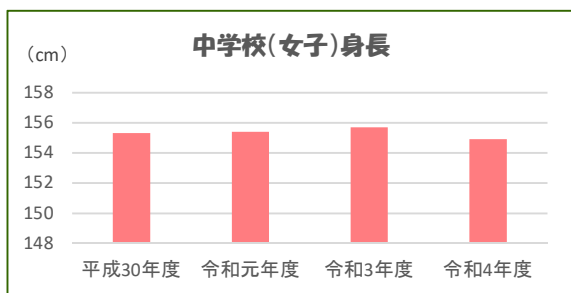
- 全国・全道平均と比較して、身長・体重ともほぼ同程度である。
- 肥満・痩身傾向については、「正常」の割合が全国・全道をやや上回り、それ以外は全国・全道とほぼ同程度である。

中学校(女子)		全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)
身長 (cm)		154.92	155.20	≒	≒
体重 (kg)		47.09	47.61	≒	≒
肥満傾向児・ 痩身傾向児の 出現率 (%)	高度肥満	0.9%	1.3%	≒	≒
	中等度肥満	2.6%	3.5%	≒	≒
	軽度肥満	4.2%	4.6%	≒	≒
	正常	88.5%	86.8%	◇	◇
	やせ	3.6%	3.6%	≒	≒
	高度やせ	0.2%	0.3%	≒	≒



■平成30～令和3年度と比較■

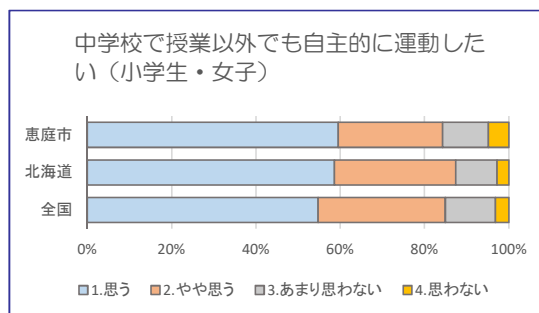
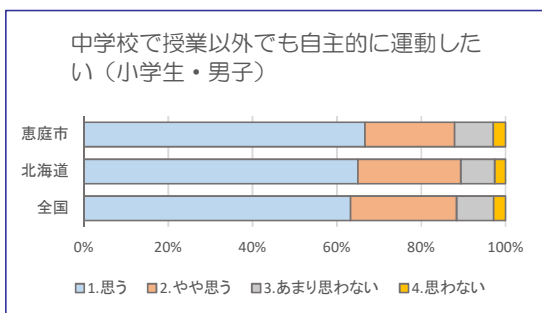
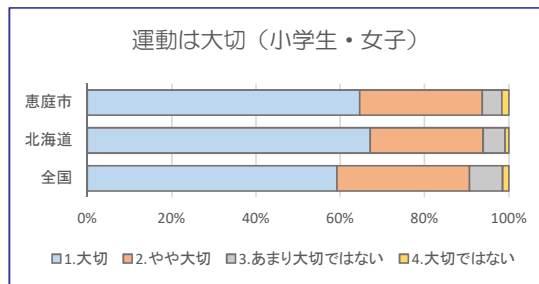
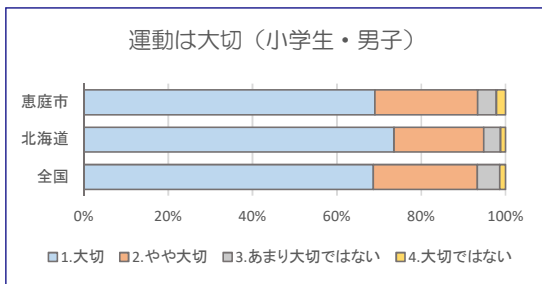
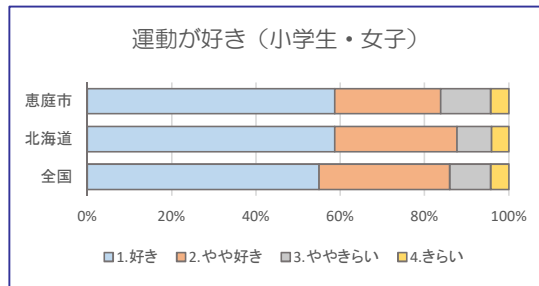
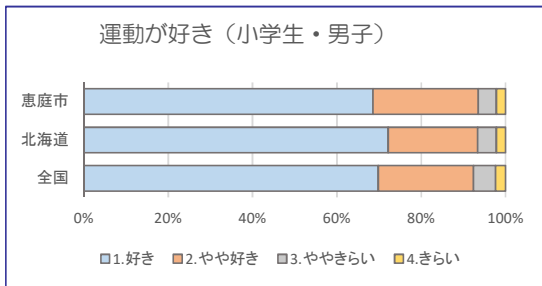
- 過去3年間と比較して、「身長・体重」ともに大きな変化はない。
- 肥満・痩身傾向については、「正常」の割合が過去3年間で最も高く、「軽度肥満」が最も低くなっている。



## 7 児童生徒質問紙調査の結果（小学校）

### 運動に対する意識

- 運動が「好き」と回答した割合について、全国平均と比較して、男子が同程度、女子がやや上回っている。
- 運動が「大切」と回答した割合について、全国平均と比較して、男子が同程度、女子がやや上回っている。
- 中学校で授業以外でも自主的に運動したい「思う」と回答した割合について、男女ともに全国平均をやや上回っている。



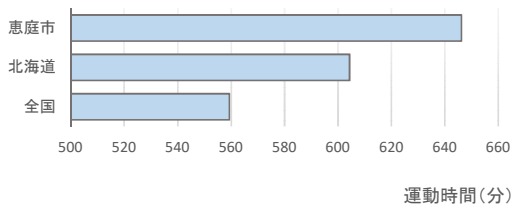
## 運動習慣について

●体育の授業以外の運動やスポーツの時間について、1週間の総運動時間を比較すると、男女ともに全国平均を大きく上回っている。

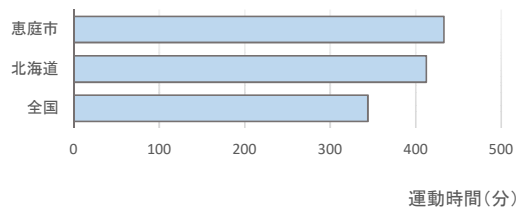
●運動部やスポーツクラブの所属について、「入っていない」と回答した割合は、男女で比較すると女子が大きく上回っている。また、全国と比較して、いずれかに所属していると回答した割合は、全国平均を下回っている。

●運動部や地域のスポーツクラブ以外で運動をすることについて、男女ともに「よくある」「ときどきある」と回答した割合が全国平均をやや上回っている。

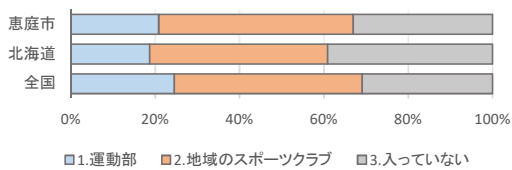
1週間の総運動時間（小学生・男子）



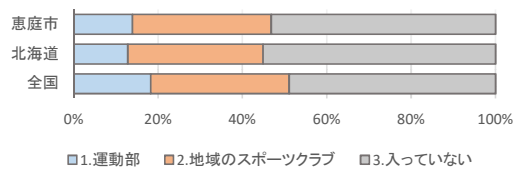
1週間の総運動時間（小学生・女子）



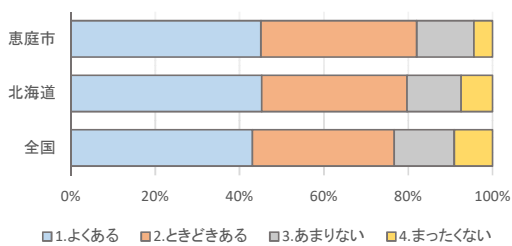
運動部やスポーツクラブの所属  
※複数回答可（小学生・男子）



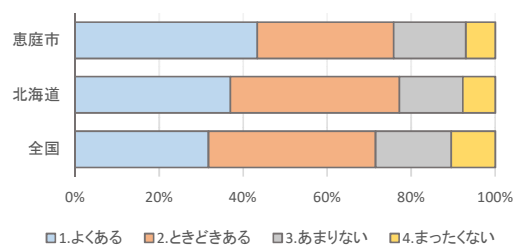
運動部やスポーツクラブの所属  
※複数回答可（小学生・女子）



運動部や地域のスポーツクラブ以外で運動をすること（小学生・男子）



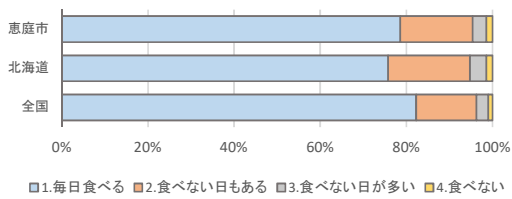
運動部や地域のスポーツクラブ以外で運動をすること（小学生・女子）



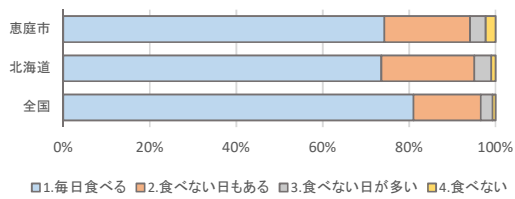
## 生活習慣について

- 朝食を「毎日食べる」と回答した割合については、全国平均と比較すると男女ともに下回っているが、全道平均と比較すると、男女ともにやや上回っている。
- 1日の睡眠時間については、全国平均と比較して、「8時間以上」と回答した割合が男女ともにやや上回っている。
- 平日のテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコン等の視聴時間について、「5時間以上」と回答した割合が、全国平均と比較して、男子で同程度だが、女子は上回っている。

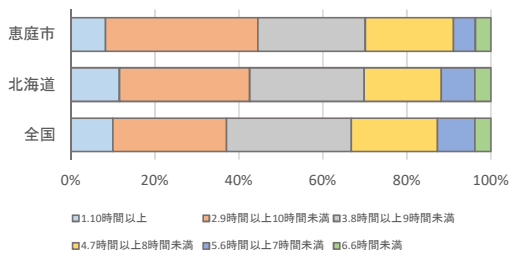
朝食を食べる（小学生・男子）



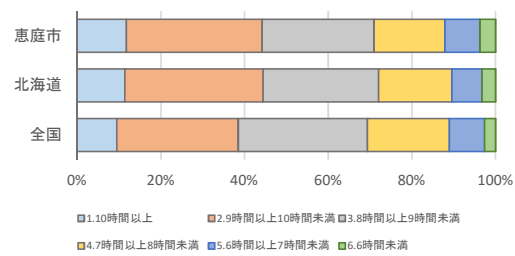
朝食を食べる（小学生・女子）



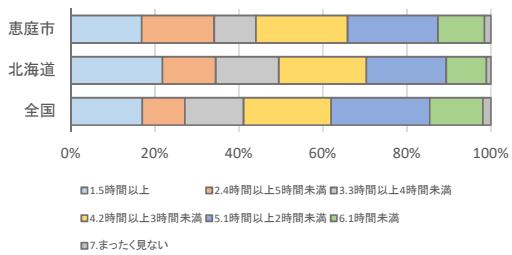
1日の睡眠時間（小学生・男子）



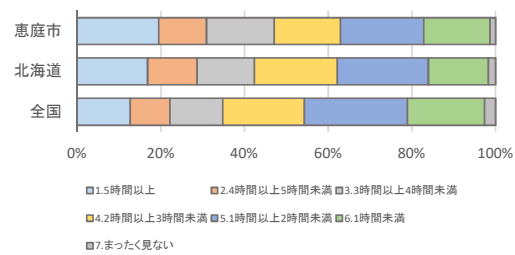
1日の睡眠時間（小学生・女子）



平日の視聴時間（小学生・男子）



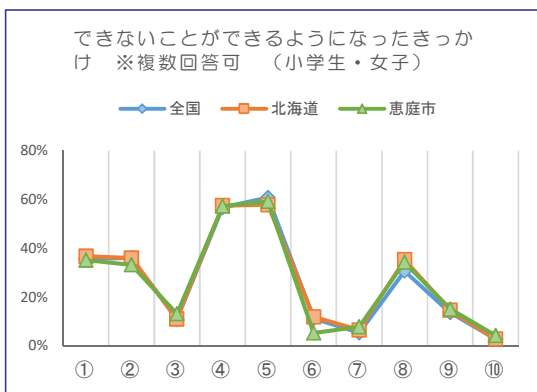
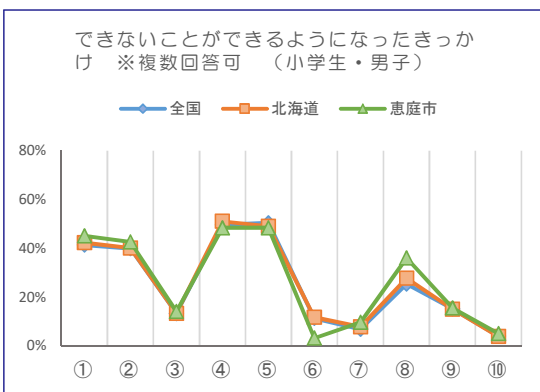
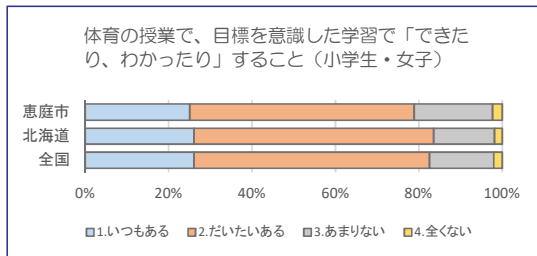
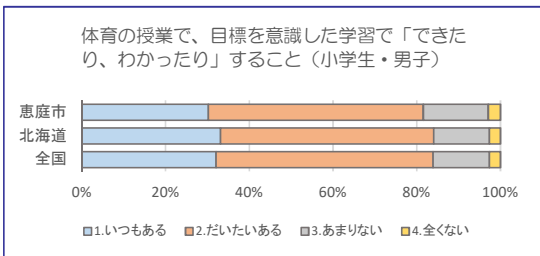
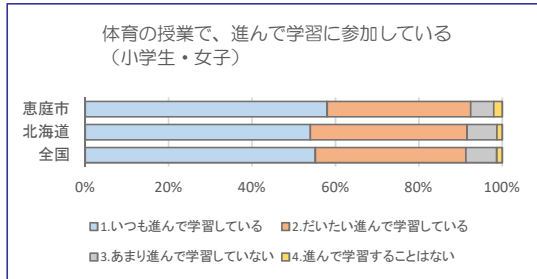
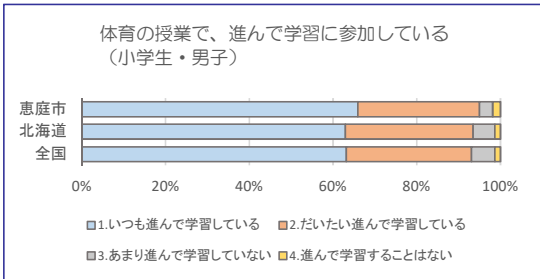
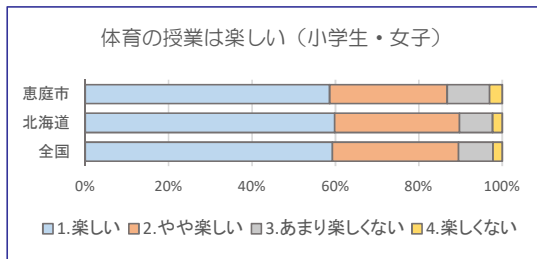
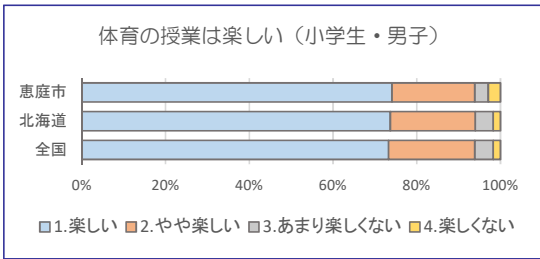
平日の視聴時間（小学生・女子）





体育の授業について

- 体育授業が「楽しい」と回答した割合は、男女ともに全国・全道平均と同程度の割合である。
- 体育授業で「進んで学習している」と回答した割合は、男女ともに全国・全道平均をやや上回っている。
- 体育授業で「できたり、わかったりすることがいつもある」と回答した割合は、全国平均と比較して、男子でやや下回っており、女子は同程度となっている。
- できないことができるようになったきっかけとして、男女ともに「先生や友達のまねをしてみた」又は「友達に教えてもらった」と回答した割合が、最も高くなっている。

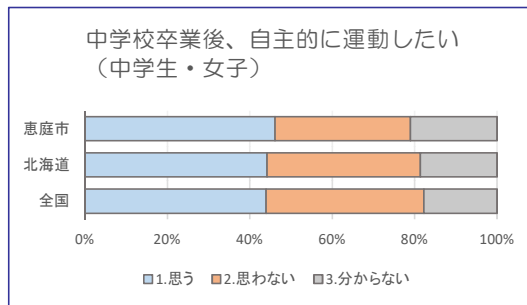
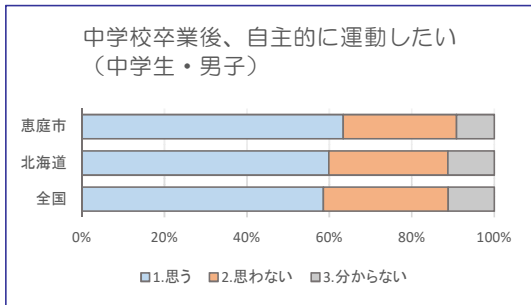
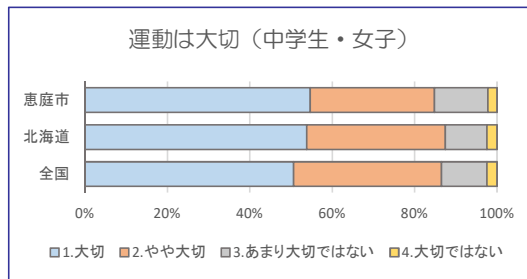
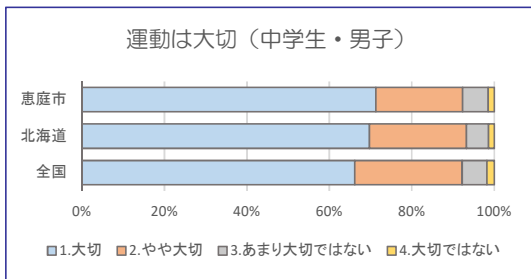
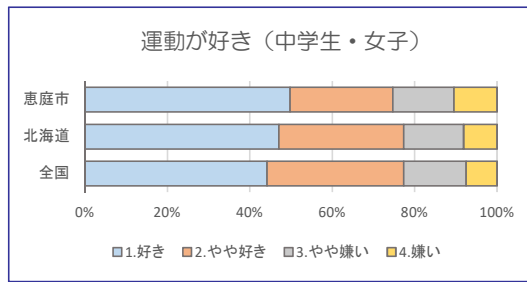
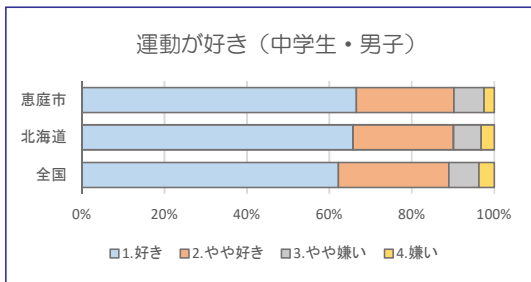


- |                             |                   |
|-----------------------------|-------------------|
| ① 授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらった | ② 授業中に自分で工夫した     |
| ③ 自分に合った場やルールが用意された         | ④ 先生や友達のまねをしてみた   |
| ⑤ 友達に教えてもらった                | ⑥ 授業中に自分の動きを動画で見た |
| ⑦ 授業外に先生に教えてもらった            | ⑧ 授業外に自分で練習した     |
| ⑨ 授業外に本や動画を見た               | ⑩ できるようになったことがない  |

## 7 児童生徒質問紙調査の結果（中学校）

### 運動に対する意識

- 運動が「好き」と回答した割合について、男女ともに全国平均を上回っている。
- 運動が「大切」と回答した割合について、男女ともに全国平均を上回っている。
- 中学校卒業後、自主的に運動したいと「思う」と回答した割合は、全国・全道平均と比較すると、男女ともにやや上回っている。

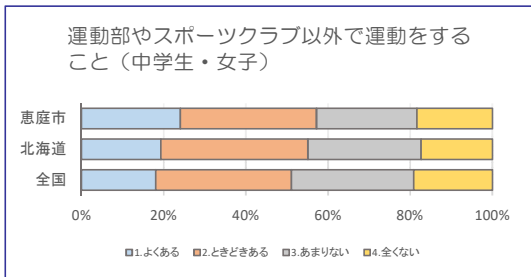
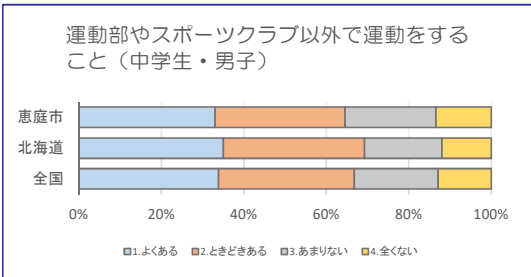
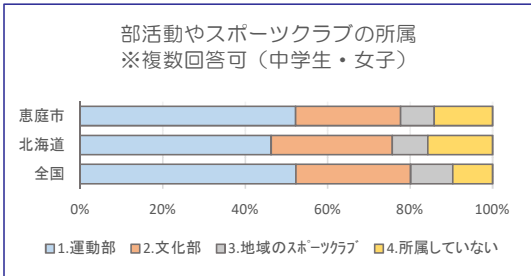
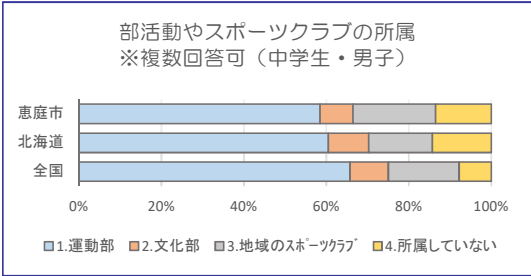
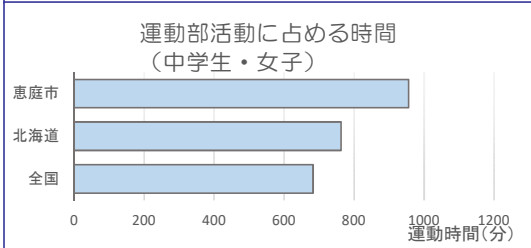
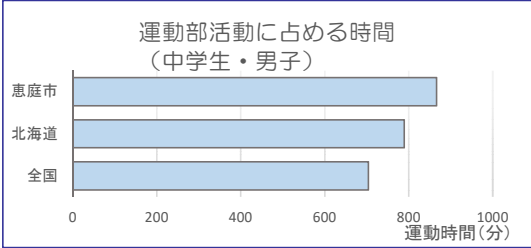
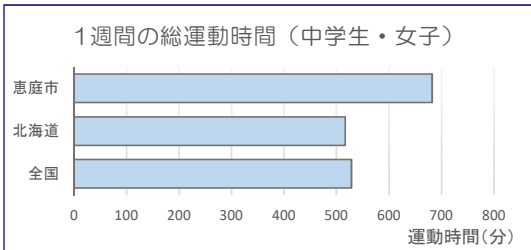
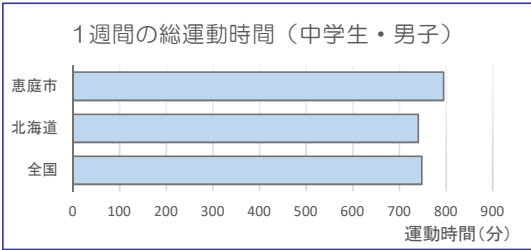


運動習慣について

● 体育の授業以外の運動やスポーツの時間について、1週間の総運動時間を全国・全道平均と比較すると、男女ともに上回っている。また、運動部に所属している生徒の部活動に占める時間は、男女ともに全国・全道平均を上回っている。

● 部活動やスポーツクラブの所属について、「運動部」に所属していると回答した割合は、男子は全国・全道平均を下回っており、女子は全道平均を上回っており、全国平均と同程度である。

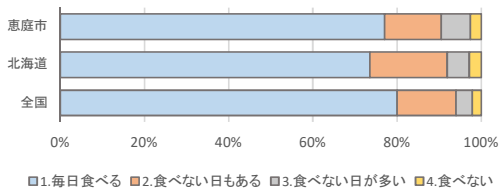
● 運動部やスポーツクラブ以外で運動をすることが「よくある」と回答した割合について、男子は全国平均と同程度だが、女子は上回っている。



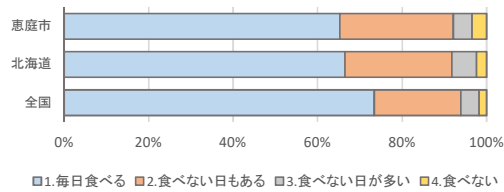
## 生活習慣について

- 朝食を「毎日食べる」と回答した割合について、男女ともに全国平均を下回っている。
- 1日の睡眠時間については、男女ともに「7時間以上8時間未満」と回答した割合が最も多い。睡眠時間が「7時間以上」と回答した割合が、男女ともに全国平均と同程度となっている。
- 平日のテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコン等の視聴時間について、男女ともに「3時間以上」と回答した割合が、全体の半分程度となっている。

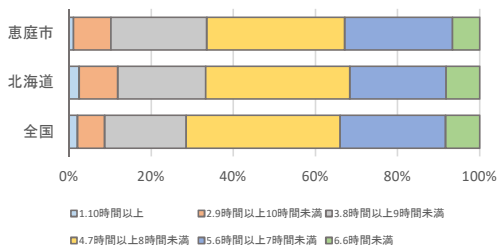
朝食を食べる（中学生・男子）



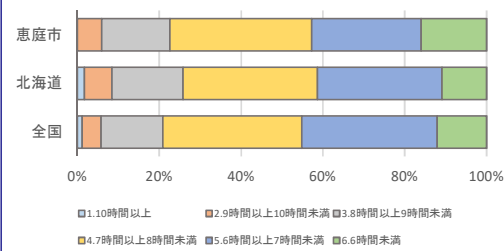
朝食を食べる（中学生・女子）



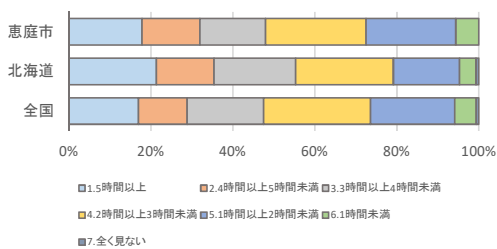
1日の睡眠時間（中学生・男子）



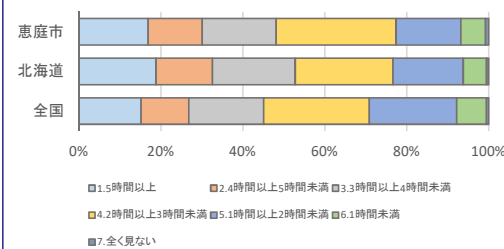
1日の睡眠時間（中学生・女子）



平日の視聴時間（中学生・男子）



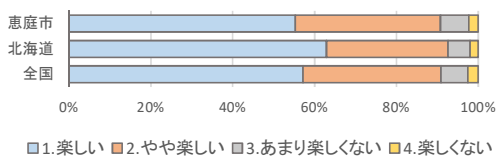
平日の視聴時間（中学生・女子）



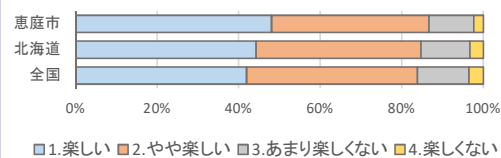
## 保健体育の授業について

- 保健体育の授業が「楽しい」と回答した割合は、全国・全道平均と比較すると男子は下回っており、女子は上回っている。
- 保健体育授業で「進んで学習する」と回答した割合は、全国・全道平均と比較すると男子は同程度であり、女子はやや下回っている。
- 保健体育授業で「できたり、わかったりすることがいつもある」と回答した割合は、全国平均と比較して、男子で下回っており、女子は同程度となっている。
- できないことができるようになったきっかけとして、男女ともに「友達に教えてもらった」と回答した割合が最も高くなっている。

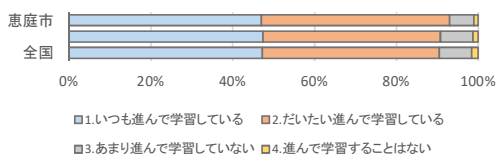
保健体育の授業は楽しい（中学生・男子）



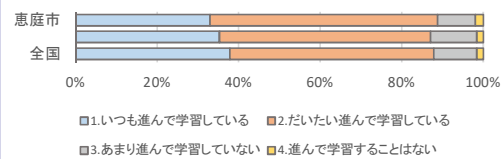
保健体育の授業は楽しい（中学生・女子）



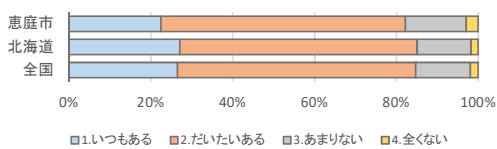
保健体育授業で、進んで学習に参加している（中学生・男子）



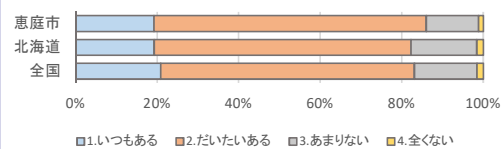
保健体育授業で、進んで学習に参加している（中学生・女子）



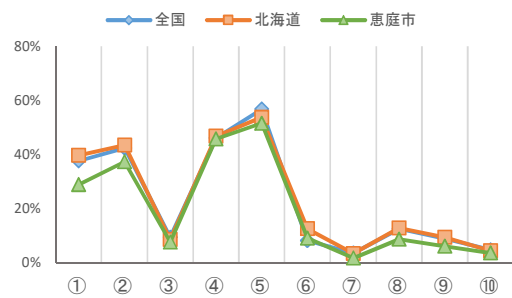
保健体育授業で目標を意識した学習で「できたり、わかったり」すること（中学生・男子）



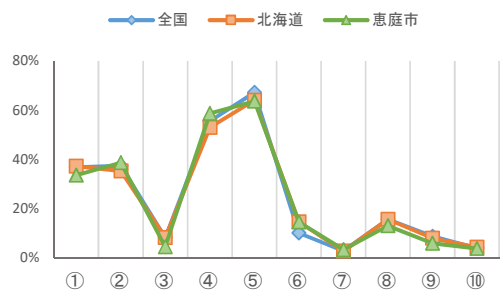
保健体育授業で目標を意識した学習で「できたり、わかったり」すること（中学生・女子）



できないことができるようになったきっかけ ※複数回答可（中学生・男子）



できないことができるようになったきっかけ ※複数回答可（中学生・女子）



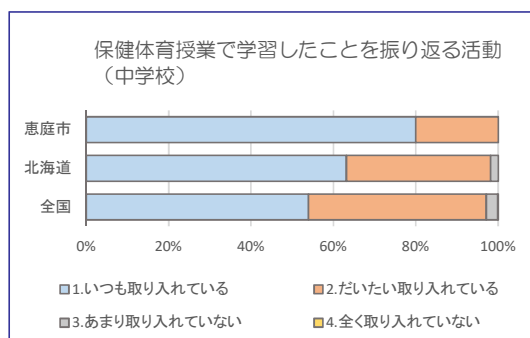
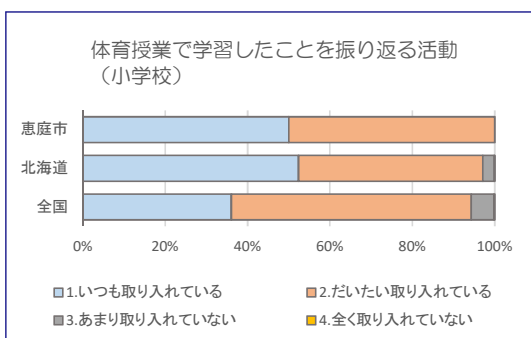
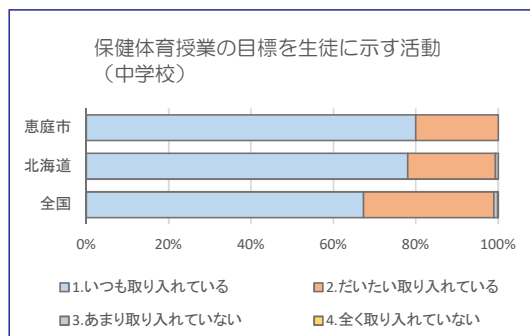
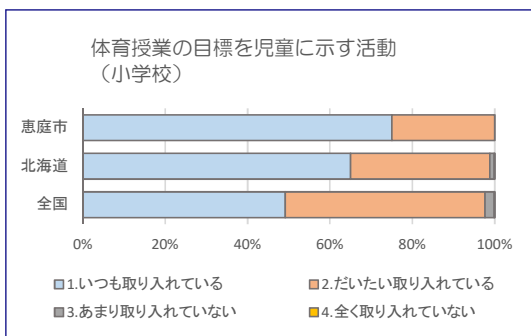
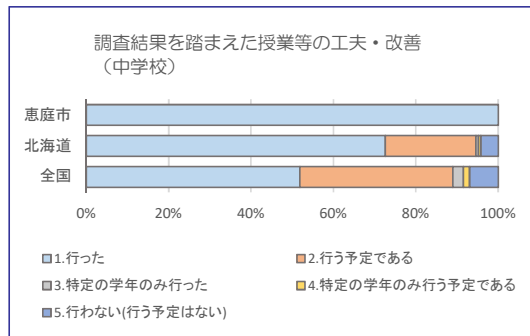
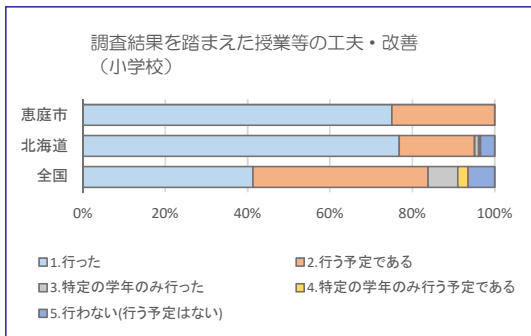
- ①授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- ③自分に合った場やルールが用意された
- ⑤友達に教えてもらった
- ⑦授業外に先生に教えてもらった
- ⑩授業外に本や動画を見た

- ②授業中に自分で工夫した
- ④先生や友達のまねをしてみた
- ⑥授業中に自分の動きを動画で見た
- ⑧授業外に自分で練習した
- ⑨できるようになったことがない

## 8 学校質問紙調査の結果 (小・中学校)

### 保健体育授業について

- 調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を「行った」と回答した割合は、小学校・中学校ともに全国平均を大きく上回っている。
- 保健体育授業の目標を児童生徒に示す活動を「いつも取り入れている」と回答した割合は、小学校・中学校ともに全国平均を上回っている。
- 保健体育授業で学習したことを振り返る活動を「いつも取り入れている」と回答した割合は、小学校・中学校ともに全国平均を上回っている。

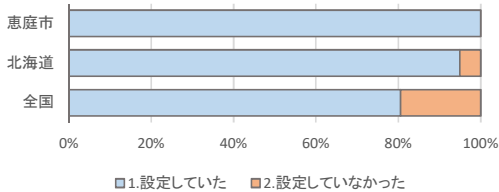


## 保健体育授業以外の取り組みについて

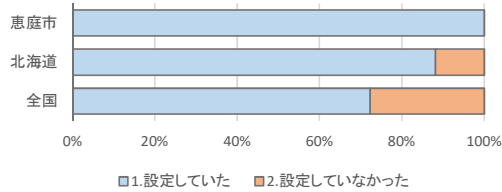
●前年度、学校全体の体力・運動能力向上の目標を「設定していた」と回答した学校は、小・中学校ともに100%であり、全国平均を上回っている。

●前年度、全児童生徒に対する保健体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組を「行った」と回答した割合について、小・中学校ともに全国平均を上回っている。取組の内容として、小学校では「縄跳び」「運動遊び」が、中学校では「縄跳び」「複合した活動」を行ったという回答が多かった。また、小学校では児童が自主的な計画作りや数値目標を設定する割合が、中学校では対戦や成果の記録を実施する割合が比較的多く、児童生徒が取り組みやすい環境づくりを進めている。

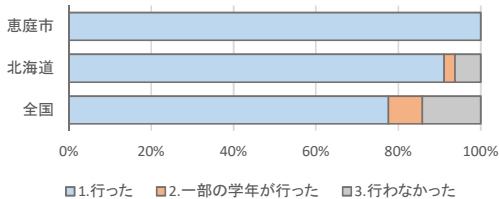
前年度、学校全体の体力・運動能力向上の目標設定（小学校）



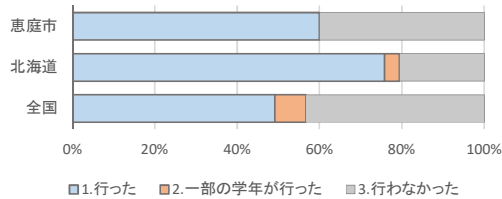
前年度、学校全体の体力・運動能力向上の目標設定（中学校）



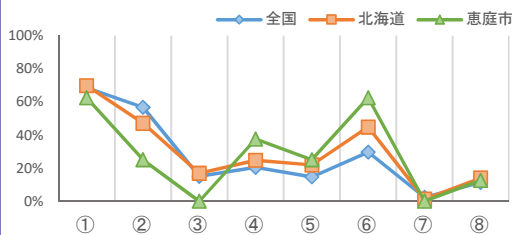
前年度、全児童に対する体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取り組み（小学校）



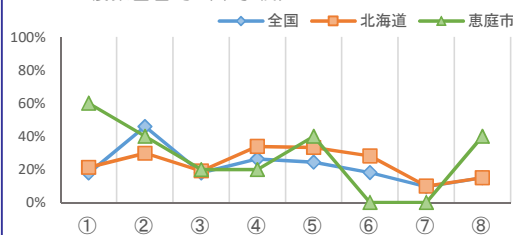
前年度、全生徒に対する保健体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取り組み（中学校）



体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組における活動内容 ※複数回答可（小学校）

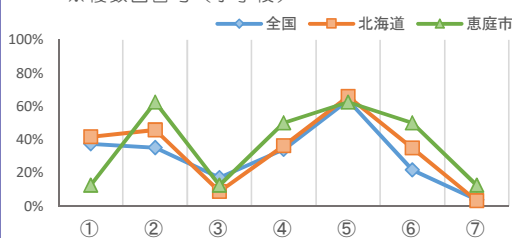


体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組における活動内容 ※複数回答可（中学校）

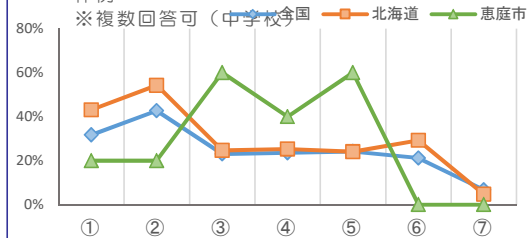


①縄跳び ②ランニング ③体操 ④ボール運動・球技 ⑤複合した活動 ⑥運動遊び ⑦特定していない ⑧その他

体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組における活動を行う上での具体例 ※複数回答可（小学校）



保健体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組における活動を行う上での具体例 ※複数回答可（中学校）

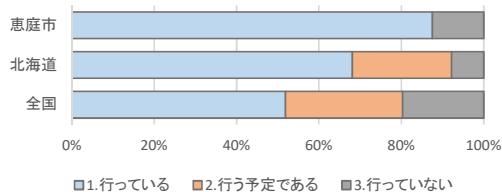


①縦割り（異学年）での交流を行った ②児童/生徒による自主的な準備・計画を取り入れた ③学級対抗などの対戦形式を取り入れた ④数値目標を設定した ⑤記録カードなどを活用し自己の成果を記録した ⑥児童/生徒が行える運動遊びの種類を多く設定した ⑦その他

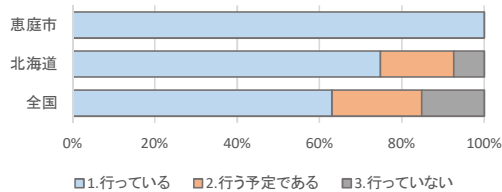
## 指導方法の改善等について

- 運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組を「行っている」と回答した割合は、小・中学校ともに全国・全道平均を上回っている。
- 研修や研究会に参加し、取組に反映しているかについて、「よくしている」と回答した割合は小学校で全国平均と同程度だが、中学校では大幅に上回っている。

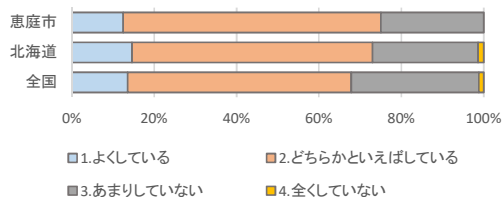
運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組（小学校）



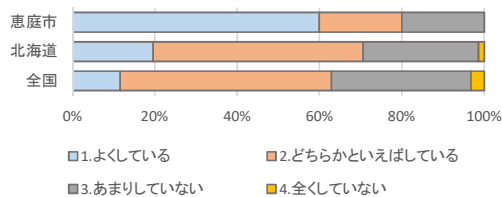
運動・スポーツが苦手な生徒向けの取組、能力差に応じた取組（中学校）



研修や研究会に参加し、体力・運動能力の向上に係る取組に反映（小学校）



研修や研究会に参加し、体力・運動能力の向上に係る取組に反映（中学校）



## 「新体カテスト」の実施状況について

- 恵庭市では、小学校において8校中7校が全学年で実施しており、「4・5年生」は全ての学校で実施している。中学校においては、5校中4校が全学年で実施しており、「2年生」は全ての学校で実施している。

※「新体カテスト」・・・文部科学省が国民全体の体力・運動能力調査として策定・実施している体カテストのこと。今回の調査とは異なる。